

わが社の★Policy

株式会社増田喜
専務取締役 増田喜一郎さん

紙のリサイクルはシステムがいち早く確立された、最も身近なエコ活動。私たちは循環型社会実現の一端を担う産業であると自負しています。会社として意識を高く持つために、ISOやエコアクション21の認証も取得。業務ではキレイなトラックと清潔な制服、気持ち良い挨拶を心がけ、お客様から感謝される会社でありたいと、日々心がけています。また、社員たちにも気持ちよく働いてもらえるよう、ルール化や職場環境に配慮しています。地域社会、そして循環型社会に貢献できる仕事にやりがいを感じてもらえる方に、是非仲間になっていただきたいと思ひます。

取材★Report

私たちが普段「燃えるゴミ」だと思って疑われない紙類。実はほとんどがリサイクル可能で、新聞・雑誌だけでなくアイスクリームのカップまでもがその対象だそうです。にもかかわらず私たちは税金を使っての資源を燃やしています。この現状を打開し、環境改善に少しでも役立ちたい、大きな利益が見込めなくても事業を展開する増田喜さんに尊敬の念を抱きました。紙リサイクルに对する社会の意識が、さらに高まることを願ひます。



す。IT化により逆にコピー用紙などの排出量が増え、事業所のゴミの4割が紙と言われます。この回収率を上げるのが重要です。ゴミの焼却には税金が使われますが、例えば福井市の場合では、一割減らすと年間約8千万円も節約できます。リサイクルを進めるためには、



手にした紙を燃えるゴミに入れるか、古紙リサイクルの袋に入れるか、一人一人の行動がカギ。そうした意識を幼い頃から持つてもらうために、「エコ紙マン」というキャラクターを作って、公民館などで子どもさん向けの教室を開催しています。

Q1 社員の皆様へ。仕事への思いを聞かせてください
雨でも回収はありますし、収集場所に車が止まっていると、近くに車を止めて手持ちで走って運ぶことも。大変ですが、お客様から「暑いのにありがとう。頑張ってるね」と喜んでいただけると嬉しくなります。(沖野稔さん)

Q2 会社として、特に力を入れている取り組みはありますか？
『エコ紙くらぶ』という事業を、2012年に始めました。古紙回収のシステムがない中小規模の事業所に車が止まっていると、近くに車を止めて手持ちで走って運ぶことも。大変ですが、お客様から「暑いのにありがとう。頑張ってるね」と喜んでいただけると嬉しくなります。(沖野稔さん)



朝の朝礼で、1日のスケジュールと安全を確認。



古紙リサイクルを通じて地域を元気に！ 環境保全に貢献できる誇りを持って仕事をする

Report
福井大学
杉本涼太さん

私が行って来ました！



Q1 業務内容を教えてください
会社やスーパーカーから出る紙ゴミを回収し、プレス加工して製紙会社に販売しています。県内に本社と3営業所（福井市・勝山市・越前市）、県外は小松に営業所があり、シェアは北陸でナンバーワンです。



本社オフィス

Q2 最近では機密文書の処理も企業にとって重要な課題。弊社では、大型シュレッダーを搭載したトラックが、お客様の目の前で計量・細断する「出張細断処理サービス」や、回収した文書をそのまま製紙工場に持ち込み、確実に溶解処理する「溶解処理サービス」を行っています。



Q3 採算が取れないのに、なぜそこまで力を入れているのですか？
大きな会社や紙を大量に排出する会社は、すでに処理の手段を持っています。しかし普通の中小の事業所ではコピー用紙や書類の処分について業者と契約するほどではなく、多くはそのまま燃えるゴミとして捨ててい

株式会社増田喜

<http://www.masudaki.co.jp/>

本社 福井市乾徳2-6-6
設立 1949年11月
代表者 代表取締役社長 増田喜代治
事業内容 段ボール・新聞・雑誌などの古紙を回収し、再生資源として製紙工場に販売
資本金:5,000万円
従業員:32名(2014年7月現在)
☎0776-27-2169



2. エコ紙マンの出張エコ教室

地球の環境を守る「エコ紙マン」と共に、各地でエコ教室を開催。紙ゴミの分別方法などを子どもたちに楽しく伝え、環境教育をサポートしています。



1. エコポリスパン

大型シュレッダー搭載の細断専用トラック。1時間に800kg~1tの処理能力がありお客様の目の前で機密文書を安全・確実に処理できる秘密兵器です。



増田喜の
ココが★すごい！

リサイクルの秘密兵器を発見！

